

対応刷数	頁	行数, 図・表・式番号	誤	正
2	18	図 3.5	右のように修正 (網掛け部分の変更)	
1	21	図 3.8	<p>浮心の移動前の浮力の原点まわりのモーメント $-\rho g V \overline{BO} \theta$</p> <p>排除流体の移動により生じる復元モーメント $\rho g \theta I_y$</p> <p>浮心の移動後の浮力の原点まわりのモーメント $\rho g V \overline{MO} \theta$</p>	<p>浮心の移動前の浮力 (これによる原点まわりのモーメント: $-\rho g V \overline{BO} \theta$)</p> <p>排除流体の移動により生じる浮力 (これによる復元モーメント: $\rho g \theta I_y$)</p> <p>浮心の移動後の浮力 (これによる原点まわりのモーメント: $\rho g V \overline{MO} \theta$)</p>
2	23	図 3.10	右のように修正 (R の追加)	
2	25	7 行目	…, 速度が時間に依存せず…	…, 時間に依存せず…
2	35	下から 4 行目	一方, x 方向成分の単位体積あたりに…	一方, x 方向成分の単位質量あたりに…
1	38	例題 4.4 2 行目	のとき排水口からの流速を求める式を求めよ.	のとき排水口からの流速を得る式を求めよ.
1	38	例題 4.4 9 行目	…, 水面と流体が噴出する位置にベルヌーイ…	…, 水面と流体が噴出する位置とにベルヌーイ…
2	39	2 行目	…点 1,2,3 は流れの図示した位置に相当する.	…点 1,2,3 は流れの図示した位置に相当する. また, 流体は気体とし, 気柱差は液柱差に比べて無視できるとする.

2	40	8行目	…管内の流速を求めよ.	…管内の流速を求めよ. なお, 断面1と断面2でのU字管マンメータによる液位差は h とする.
2	45	下から9行目	…, u_θ は半径方向流速, …	…, u_θ は円周方向流速, …
2	46	下から8行目	ここで, $u_{2\theta} = u_2 \cos \theta = 10 \times \cos 45^\circ, \dots$	ここで, $u_{2\theta} = u_2 \cos \theta = 5 \times \cos 45^\circ, \dots$
2	71	2行目	…ポテンシャルは, 一様流に $-\Gamma$ の循環が加わったとき…	…ポテンシャルは, 一様流中に置かれた円柱に $-\Gamma$ の循環が加わったとき…
2	83	7行目	…また, 揚力係数も同様に周期的変動をするが, 時間的平均値はゼロである.	…また, 揚力も同様に周期的変動をするが, 時間的平均値はゼロである.
2	125	8行目	…たとえば \bar{u}, u' については,	…たとえば u, u' については,
2	171	下から3~2行目	ベクトル和 \mathbf{R} として液面に加速度が作用する. いま, 液面の座標を $\mathbf{Z}_{fs}(\mathbf{r})$ とすると, 力の向きになる \mathbf{R} と直交するので,	ベクトル和 \mathbf{R} として液面に加速度が作用する. いま, 液面の z 方向の座標を $\mathbf{Z}_{fs}(\mathbf{r})$ とすると, 力の向きになる \mathbf{R} と直交するので,
2	175	下から3行目	$F_T = F \cos(76.42+12) = 150.3 \times 0.02757 = 4.144 = 4.14\text{N}$	$F_T = F \cos(76.72+12) = 150.3 \times 0.02233 = 3.357 = 3.36\text{N}$